

## 第三陣からの活動報告 続々と

16日に現地に到着した第三陣の活動もすでに3日が経過しています。各地からの報告・感想をお送りします。

### 岩 手

#### ●宮古拠点

【4/18】

宮古のボランティアセンターには、ボランティアとスタッフ合わせ、約60名が寝起きをしています。本日は、ボランティア活動第2日目。6時起床、7時朝食、8時10分からのミーティングで当日の作業内容を伝えます。

朝食、夕食は拠点の近所にある弁当店からのケータリングで、発砲スチロールに入ったおかずと、巨大なジャーのご飯、そして味噌汁。それを、11に分かれた生活班が交替で配膳、皿洗いをします。

本日の業務は9班に分かれました。1班は2時間離れた岩泉の温泉の泥出し、2班から8班は宮古の個人宅等の片づけ、9班は鎌ヶ崎(くわがさき)小学校に設営されている仮設風呂の運営です。

このうち1班は、拠点から車で90分かけて岩泉の社会福祉協議会にいき、名前等を登録します。そこから担当の小本(おもと)温泉へ向かいます。小本温泉は宴会場付きの温泉ですが、津波の被害にあい、3月11日以降営業していません。小本温泉の作業は昨日から始まり、おそらく23日まで続くと思われます。

17日は120枚の畳を大宴会場から運び出し、本日はボランティアの大工さんが外した畳の下の床板約120枚を運び出し、デッキブラシで洗い、天日で干して、また屋内に戻しました。

作業は毎日15時に終了。車でボランティアセンターのある臺目(ひきめ)に戻り、その後、入浴、作業班ごとの反省会、スタッフと各班班長の「班長会議」があり、19時20分から食事となります。

作業2日目、多少は慣れましたが、疲れもたまってきたところでしょう。22時30分の消灯前にはおそらく大半が夢の中にいることでしょう。



■外した床板の天日干し



■反省会で一日の活動を振り返り、翌日に備える

### 宮 城

#### ●仙台拠点で活動中のJR連合・荻山さんから、活動内容や感想が寄せられました。

今回の仙台チームは、連合加盟組織からそれぞれ派遣された59名で編成されています。16日は連合本部での出発式を終え、バスでベースキャンプである仙台市の宮交会館へ。夕方には現地受け入れ式とミーティングを行いました。17日から、津波で甚大な被害を受けた石巻地区に入り作業を開始しました。

現地では10名程度の班を組み、それぞれ被災者宅を担当しています。JR連合を含む班が担当した地域

には、3メートル程度の津波被害を受けて1階部分が完全に浸水したものの、復旧作業により居住可能な家屋が多く、被災された方々が避難所から帰宅できるように、住民の方々と協力して、懸命に作業を進めています。

家屋の周りには、無数のガレキとヘドロが堆積して異臭を放っているほか、漂着した自動車や倉庫なども散乱しています。ボランティアの任務は、家人だけでは到底片付けられない、大量のヘドロやガレキの撤去です。カップ、安全長靴、ビニール手袋などを装備して、スコップと一輪車を使い、家屋の周辺や床下から搬出を行いますが、たちまちヘドロだらけになり、悪臭の中で作業が続く、なかなかの重労働です。それでも、住民の方から感謝の言葉を受けると、疲れも忘れます。私たちが担当したお宅は、日本製紙にお勤めだった組合員OBの方で、連合の旗を見て「懐かしいです。皆さんのおかげで勇気づけられました」と話され、むしろ、こちらが力をいただきました。

被災者の皆さんは、いずれも身内や知り合いが亡くなった方ばかりですが、気丈に頑張っておられます。まだ2日しか作業していませんが、家屋の片付けだけでもお役に立て、本当にやりがいを感じています。重労働が続くので、チーム一同、体調管理には十分に気をつけて対応を進めています。

被災地では復旧、復興が着実に進んではいますが、被害規模があまりにも大きく、ボランティアもまったく手が足りない状況です。長期の活動になることから、継続的な取り組みが重要になります。JR連合は連合の一員として、少しでも被災地、被災者の救援にお役立ちできるよう、組織をあげて支援を継続していくこととします。(JR連合 荻山市朗さんからの報告)

## 福島

### ●福島拠点

【4/17】相馬市内では、民家での家具搬出、畳あげ等を実施。

【4/18】相馬市内では、パークゴルフ場の漂着物の片づけ、郡山市では、避難所での炊き出し(夕食用として中華スープとゆで卵200人分)、炊き出し用の食材づくり、救援物資の仕分けを実施。柳川町では、炊き出し作業(「めった汁(豚汁の別称)」200人分)を実施。



■炊き出しの仕込み作業、全員真剣です(相馬)

### ●会津拠点

【4/18】会津若松の支援センターで、支援物資の整備・仕分け・受付・

配布を実施。いわき市では、道路沿いの砂等の除去(1kmを500mずつ2班で実施)、ボランティアセンターでの受付業務(作業指示書に沿って用具の貸し出し、返却管理)などを実施。

### 19日から、いわき拠点が稼働開始

これまで、いわき市へは会津拠点からバスで移動してきましたが、移動時間が片道2時間に及ぶという課題がありました。そこで、19日から、いわき市湯本に新たな拠点を設置し、会津拠点から約20名が移動します。これにより、いわきのボランティアセンターまで片道20分程度に短縮され、活動時間の確保、移動負担の軽減がはかれることとなります。



■津波に負けず咲いた花(いわき市)

【第三陣 派遣人数】 岩手104名 宮城79名 福島105名 計288名

【第一陣以降の延べ人員】 3,176名(4/16現在 ※派遣人員×活動日数)